

## 新たな森林調査システム検証事業審査基準書

審査項目	審査内容	配点	総合
業務理解度	仕様書に記載されている事業内容を十分に踏まえ、効果的な提案となっているか。	15	15
企画内容	レーザ計測を用いる森林調査方法が林業現場への普及につながる企画・工夫がなされているか。	15	30
	新たな森林施業モデルの実証について、林業現場で実践できる企画・工夫がなされているか。	15	
事業実施	レーザ計測を用いる森林調査方法の検証について、計画的かつ効果的に実施できる内容となっているか。	10	20
	産学官が連携した新たな森林施業モデル検討会について、計画的かつ効果的に実施できる内容となっているか。	10	
実施体制	責任者や役割分担が具体的に示され、確実に実施できる体制が整っているか。	20	20
計画性	計画的で無理がなく、具体的かつ実施可能な業務スケジュールとなっているか。	10	10
経済性	経費の積算に無駄がなく妥当であるか。また、節減が図られているか。	5	5
合 計		100	100

### 【審査方法】

- (1) 委員は、各項目について審査を行い、採点する。
- (2) 全ての委員の点数を集計する。
- (3) 集計の結果、合計点数が最も高い参加者を受託候補者として決定する。なお、点数が同点の場合は、委員の協議により決定する。
- (4) 委員の合計点数が最低基準点である300点(満点500点×6割)以上になった参加者がいなかったときは、受託候補者を決定しない。
- (5) 参加者が1者だけの場合、委員の合計点数が最低基準点である300点(満点500点×6割)以上になったとき、その参加者を受託候補者として決定する。

### 【評価基準(5段階)】下記を基準に係数を乗じた点数とする。

- 5 標準より非常に優れた提案
- 4 標準より優れた提案
- 3 標準的な提案
- 2 標準よりもやや劣る提案
- 1 標準より劣る提案